

第2回 新・庁舎、図書館建設町民委員会 議事概要

- 開催日時 令和2年7月17日 14:00～
- 場 所 能楽の里文化交流会館2階 大会議室
- 出席者 委員8名 行政3名 事務局 2名
- 傍聴人 5名

□開 会

□座長挨拶

庁舎の建て替えは、町の将来を決める非常に重要な節目になってくる。皆さんの意見をできるだけ引き出せるようにしたい。将来の世代のことをしっかり考えながら、決断するところは決断しなければならないし、皆さんのご意見を踏まえてこの委員会で方向を出したい。

□前回の振り返り

□協 議

1. 新庁舎の建設場所について

(1) 資料説明

- ① 新庁舎の配置案について
 - A 案：現庁舎位置での建て替え
 - B 案：交流会館敷地内に建設
 - C 案：交流会館を取り壊して建設
- ② 3案の比較検討について

【質疑応答】

委 員：25年前は県下の市町村も挙って会館を建てた。当時は人口も多く利用率・稼働率も高かった。鉄筋コンクリート建築の耐用年数を考えると25年は短い気がする。25年前に要望がありかなりの投資をした会館を捨ててしまうと思う町民も多くいると思う。25年前の考え方と今のコストを見るのとは時代が変わった感じだ。コストは答えが出たように差が出ている。財政負担は大変なことだが、町民に理解いただく努力が必要だ。今後のコストを低くし、利用してもらえる施設建設になれば良いと思う。

委員：当時は景気がいい時で維持費は頭になかったので経費がかかっている。経費がかかる交流会館を解体して庁舎を建てて欲しいと言っている人がいる。財政状況の良い時に、新しい今後のためになるものを作って欲しい。

委員：平成 29 年の報告書では現庁舎での建て替えが望ましいとなっているが、平成 31 年の報告書では交流会館の場所が望ましいとなっている。なぜ変わったのか。

課長：平成 29 年の時点で、役場の課題点から役場の職員として考えたため、交流会館を壊すという発想は難しかったし、新たに土地を買うなどコストをかけることが本当に良いのか、現実的に難しいと思い、現庁舎の場所で建て替えに落ち着いた。

委員：交流会館の在り方についての報告書はないのか。

教育長：そういったものはない。新図書館の話が始まった頃から一気に音響や照明など設備の不具合が出てきた。それまでは修繕しながら使っていたが、建物の耐用年数一杯の 50 年使うにはどれだけ経費が必要か調べたところ、3 年間で 5 億かかることが分かった。図書館を建て、交流会館も使っていくことは将来的に良いのか議論が出てきた時に庁舎も併せて考える機会があったため今に至っている。

座長：池田町の将来に合うか考えて決断して欲しい。

委員：工期はどれくらいを見込んで、何年までに完成させるなどの具体性はあるのか。

課長：スケジュールはまだ立てられていない。実際に建て始めれば 1～2 年で建てられると思っている。木望の森プロジェクトの中で、庁舎や図書館を木造で建てる、エネルギーに木質バイオマスを使うなど検討を始めている。木望の森プロジェクトの全体がとりまとまった後に庁舎の設計などに入っていくため時間がかかると思っている。

委員：新幹線の開通や国道 417 号線の冠山峠トンネルなどの開通などを考えて、この年度には完成させたいというスケジュールと経費を合わせて説明した方が町民にとってわかりやすいのでは。建て替えなければならないのはわかる。

委員：木質バイオマスで熱利用も検討とのことだが、熱をつくる場所がどこになるのか。

委員：町民から見て、庁舎は古いため建て直すことに納得すると思うが、交流会館を壊す

のはもったいないと言われると思うので、町民にしっかり説明する必要がある。また、C案で良いと思うが、隣接の町有地を駐車場として活用することも考えた方が良い。

座長：残すのが良いのか、建て替えた方が良いのか、全てのコストを含めてどうなのか町民に分かりやすく、事例も含めて説明していく必要がある。

委員：市町村が合併して不用となった施設は大体が解体や閉鎖されている。

委員：町民はどれくらいコストがかかるかわからない。コストの説明が必要なのではないか。

委員：我々にも説明責任があるので、どう理解して推進していったのかを、自問自答して答えられるようにしなければならない。

座長：交流会館を延命すると修繕で10億、維持管理に5億かかる。解体してダウンサイズして建て直し、維持管理も省エネだとコスト減と資料から読める。

委員：金額が空白であればC案が一番高いと思う。C案が一番低いのは意外だった。

委員：交流会館の維持管理などにお金がかかるということがわかる。

委員：新しい役場の中に図書館を建ててほしい。子どもの居場所にもなるし、新しく建てるより建設費が安くなるのではないか。

課長：維持管理や修繕コストだが、建物の耐用年数はまだあるが、給排水含む設備の耐用年数は来ている。高齢化が進むとエレベーターなどのバリアフリー設備などの話も出てくると思われ、報告書にはないコストも出てくると感じている。

座長：使うのに敷居が高いという意識があって利用率が低いのであれば、新しくするときには気軽に使えるようにどう工夫するかということに、生かさなければならない。

委員：C案の図面だと図書館の敷地に余裕があるようだが、蔵書など内容はどうなるのか。

教育長：今の図書館は299㎡あり、蔵書は設計では3万冊だが、現在4万4～5千冊ある。

新図書館では 924 m²としており、蔵書は倍程度を計画している。部屋や設備も庁舎と共用できる部分もあるかと思う。

委員：開発センターも交流会館も取り壊すとなると会議室の数が減るのではないか。

課長：交流会館 2 階大会議室は 160 m²、小会議室は 110 m²、開発センター 2 階洋会議室は 108 m²、向かいの和室は 56 m²、1 階の和室も 70 m²ある。今回の計画では、交流会館の大会議室や小会議室と同程度の会議室、今の開発センターのホールと同程度のホール含め計 1,200 m²としている。

委員：将来につけを残さないという点で C 案に納得はできるが、スケジュール含めて町民にわかるように説明して欲しい。C 案の場合、川の合流点が近くでもあるので、安全性を平屋でも確保して欲しい。壊すのは難しい判断なので町民への説明が必要だ。

課長：交流会館は。県の浸水想定区域図において浸水しない場所となっている。

座長：河川については県の対策があり、冠水時に田んぼを切るなどの方法もあるかと思う。

委員：費用が高くなければ、ほっとプラザをかさ上げして、全部同じ高さにすると本当にワンストップになるのでは。雪対策も併せて考えて欲しい。

座長：駐車場は通常の使用とイベント時の使用とどう対応するか考えて欲しい。

委員：C 案につき、図面の一番左の突き当りまでの道路を敷地として活用できないか。

課長：施設の複合化というご意見もあるが、庁舎建設には補助金はないが、会議室を新しい交流会館や図書館に入れると財源的にも工夫ができると思う。

教育長：道路については、イベントで駐車場がいっぱいになった時に、事故とか円滑な出入りが難しいため、もう一つの入り口を設けた。また、冬季に排雪するためでもある。さらに、河川公園があるため、親水的なつなぎ目の役割もしている。

座長：外観的にもシンボリック的にしていくには、野外スペースもきっちりとっていく必要がある。駐車場のためだけでなく、多面的なスペース活用として踏み込むことができる。C 案は自由度がある。

工期については、一番時間がかかるのは、建設資材をきっちり地域内で準備すること。町民の理解を得るためにも、地域内で公共事業の需要効果をきちっと出すためには、地域内で形成資材等を仕入れること。このプロジェクトの大きなアピールになる。できるだけ町内で資材を調達する。

委員：ホールの半分を2階にして事務室を置いて駐車場を増やせないか。

委員：ウィズコロナの時代で避難場所になる際に避難者にやさしい作りを検討して欲しい。

座長：現在地で建て替えのA案と交流会館側でのB・C案とどちらが良いか。

委員：交流会館の方に建てて、ほっとプラザとエスカレーターでつなげると良い。

委員：ほっとプラザを作る時に庁舎と離れたら困ると最初は声があったが今はない。今回も遠くに移るわけではないのでそんなに言われないのでは。

委員：役場を交流会館の所で建て替えた場合、役場跡地は何に使うのか。

課長：本決まりではないが、高齢者の住まいを建てたらどうかという意見が出ている。

委員：交流会館の話が出てきたので交流会館の所に建てれば良いということなので、交流会館の話がなければ、今の役場の場所で建て替えれば良い。

委員：車庫も考えるとなぜ今の庁舎の場所では良くないかという話もしなければならぬ。

座長：どの案も新規に用地取得がない。B・C案は役場跡地の収益型活用も考えられる。B案は特にないようなので、A案かC案かと思うが、C案は町民への説明が課題となるが、C案という方向のようだがいかがか。

委員：町民に説明しやすいのは今の場所で庁舎を建て替えるA案だ。

座長：これから使う次の世代の町民にとってどの形が良いのか考えて欲しい。

委員：C案の庁舎、ほっとプラザ、図書館が一体だと、うまくまとめたと思われるだろう。

委員：経費が高ければ説明つかないが、経費を考えればC案が良いと説明できるだろう。

委員：はじめはA案が良いと思っていた。コスト面や今後を考えると利便性も良いC案が良いと思うが、町民に対してどう十分に説明するのが課題だ。

座長：町民の方にも資料にあるような説明をしていけばよい。

委員：交流会館の場所になれば全て一か所で行けるので良い。

座長：交流会館の場所は池田町の中心的な所との意識もでてきている。交流会館の規模は縮小するが愛着は継承する形でデザインや使い方を考えるという連続性は大事だ。

委員：交流会館や診療所・ほっとプラザができて、役場もあれば良いのにと周りの人も言っていた。C案で良いと思う。

委員：小さい町だからこれができたと外部の人は判断する。

委員：コスト面など考えるとC案で良いと思う。

委員：個人的にC案で良いと思うが、もう少し倉庫などレイアウトを考えて欲しい。

委員：レイアウトは考えなければならないことがまだまだ多くある。

座長：本日の決定はスタートラインで、行政サービスだけではなく、自助、公助、共助を含めると、町づくりに町民が参画できるものを作らないといけない。今後、機能、使い方、デザイン、工期、コストなど皆さんから指摘されたことも詰めていかなければならない。皆さんのご意見としてC案をベースに検討を進めていただきたいということで良いですね。その他今後進めていくうえで何かあればご意見いただきたい。

委員：町民はいけだチャンネルが大好きだから、差し支えなければこの委員会をいけだチャンネルで映して、内容を聞くと納得される方が多いのではないか。

委員：委員会での結果を出すよりかは、委員会の流れを見てもらうことも良いと思う。

座 長：委員会で3案に第1回で絞り、メリット・デメリットなど様々な観点から資料を用意していただいたものをベースに検討した結果、この委員会でもA案と想っていたが、多面的・長期的にみると、移転してB案C案という案も良い。議論した結果、トータルでみて、移転して交流会館の跡地に建てる方がこの場所全体の将来を考えると良いという方向で一本化できた。委員会では意見が一致した。

委 員：次回の日程ということは次回があるのか。

座 長：委員会での決定にとって非常に重大な事項に関することや今日の資料とは異なることが出てきた場合には、もう一度確認させていただくことでどうか。

課 長：重要な点の場所についての報告で一区切りをつけ、実際の庁舎のスケジュールが決まり、設計等詳細に入っていく段階でまた皆さんと次回協議させていただきたい。

座 長：今後委員会としての判断材料あるいは、皆さんのご意見を町民全体で共有することが非常に大事だということがみなさんの意見だった。各委員の方たちが、周りの方々に伝えてご意見をいただきたい。また、各委員にも完成した議事録に目を通していただき、大きな異論がなければ議事録の確認だけで会議は開催しない。

□閉 会